



第1回いわき地域産業6次化ネットワーク交流会を開催しました

7月18日(木)、県いわき合同庁舎において、いわき地域産業6次化運営会議(事務局:いわき地方振興局・いわき農林事務所・水産事務所)主催による平成25年度第1回「いわき地域産業6次化ネットワーク交流会」を開催し、ネットワーク会員など約70名が参加しました。

農林水産業の振興のみならず、東日本大震災からの復旧・復興の手段としても注目されている地域産業6次化をさらに推進することが交流会の目的です。

ネットワーク交流会では、売れる商品づくりの専門家であり、福島県6次産業化プランナーや福島県農業振興審議会委員などを務め、福島県の農林水産業にも詳しい(株)ドゥーイットの本部映利香代表取締役が「6次化商品開発のヒント～売れる商品はこうして作る～」と題して、まず講演を行いました。

講演の中で本部氏は、物づくりに大切なことは、「柔軟な発想」と「消費者の話を聞くこと」であることをわかりやすいたとえ話を使いながら説明しました。

さらに、具体的な商品開発に当たっては、商品の試作に入る前に「市場調査」、「競合相手・類似品調査」、「だれにどのように売るか」の3点の検討が必要であり、この作業を省略して商品開発を行っても利益の出ない自己満足の商品になってしまうことを指摘しました。また、だれにどのように売るかを検討する際には、ターゲットを絞り、比較的高い価格でも消費者が「これでなければだめ」という商品を開発した方が良いとのアドバイスがありました。

次に、6次化商品PR及び開発検討交流会が行われ、4名の事業者が持参した商品について、本部氏が商品開発や販路開拓についてそれぞれの事業者にアドバイスしました。アドバイスは、商品を持参した事業者のみならず、他の参加者にとっても商品開発や販路開拓の参考になったようです。

その後、参加者間の交流の時間となり、参加者が盛んに意見交換を行っている様子が見られました。



(講演を行う本部氏)